



割と真面目に、英語を理解するコツ

2021/12/18





著者紹介

著者近影



(著作権対応後)

著者名

hashinobot

あだ名

hashinobot

本名

hashinobot

役職

Punisher





そんな感じで 普段ふざけてばかりいる 私ですが・・

今日は割と真面目に 英語を紐解いて理解するコツをお伝えしたいと思います。

まず背景として、私は幼い頃 意図せず、英語を勉強せざるを得ない環境に置かれました。当時はまだピチピチの子供で吸収力が高かったこともあり、自分の感覚に頼って自然と学んでいきました。勉強していると言う感覚は あまりなかったです。





感覚だけに頼っていると・・・

ただ、感覚だけでやっているといつか壁にぶち当たって自分の感覚が崩れた時に、それを構築しなおせる理論が自分の中で確立されていないと、復旧が難しくなってしまいます。

あとになって振り返ると、
「こう言う風に教えてくれていたら
もっと英語をイメージしやすかったのに。」
と私が感じたことについて
お伝えしたいと思います。





まずは・・・

英語のコツと言いながら、まずは漢字についてお話します。w

日本で日常的に使用されている常用漢字は 2136字 あるそうです。
中国など世界各地で使用されている(されていた)異体字も含めると
その数は 10万字 を超えるとか・・・。

部団風派
家会組流
社隊屋

みなさんは 漢字を覚える際に
1文字ずつを画像の様に
丸暗記していますか？





漢字の仕組み

漢字を覚える際は、「**〇へん**に **〇つくり**」など 部品の組み合わせで記憶していると思います。

例えば、「柱」と言う漢字の場合、
「**きへん** + **つくりが主**」と覚えていると思います。

「注」と言う漢字の場合、
「**さんずいへん** + **つくりが主**」ですね。





漢字の仕組み

漢字1文字を そのまま暗記するのではなく、
「へん」と「つくり」に分解して、その組み合わせで記憶することにより、
より多くの種類の字を導き出すことができます。

また、「へん」により 字が大枠で関係している物を、
「つくり」により 字の音と詳細な意味を、
イメージしやすくなります。

英単語も、言葉の成り立ちの原理は
漢字と同じだと 私は思っています。





漢字の次は・・・

次は・・・、数学のお話を少しします。w

「素因数分解」について、どんなのだったか覚えていますか？

20 という数を 素数の積で表現すると $2 \times 2 \times 5$

126 の場合 $2 \times 3 \times 3 \times 7$

これ以上割り切れない数の集合体、すなわち 素数だけで
構成を表現する 分解方法を 素因数分解と言います。





それを踏まえていよいよ・・・

そしてやっとこさ、英語についてお話します。

英単語も原理で言えば 漢字 と同じく
各パーツの寄せ集めで構成されている と私は考えています。

英単語を理解するには 素因数分解 し、
最小の単位、すなわち「音節」単位に分解することで
その言葉の本質を理解することができます。





音節こそ英単語の骨格

例えば computer という言葉の場合、音節単位で分解すると com・put・er になります。

com は「共に、一緒に」

pute は「整理する、考える」

er は「～をする人や物」

との意味をそれぞれ持っています。

それらを組み合わせて computer は現代では「計算機」の意味になっています。





英語の正体

英単語とは 音節の組み合わせです。

音節を意識して覚えることにより、単語の 綴り・発音・意味・成り立ちを同時に身につけることができます。

とまあ、全ての単語を単純なルールで覚えられるほど、現実には甘くないです。

しかし、他言語を覚える際に 完璧を求めるとなかなか前に進みません。まずは 大体のイメージを掴んで 単語の使い方を想像できることが 大切です。





さいごに

英語は色々なヨーロッパ系言語から 派生してできた言語なので、現代の意味では、語源から かけ離れた意味になっている言葉もあります。

それでも、物事の本質から理解しようとするアプローチは、他の場面でも役に立つと考えています。

今日ご紹介した内容以外にもいくつか「コツ」がありますが、5分間で すべてを お話するのは難しいので今回はこれぐらいで。





またの機会にお願いします

ご清聴ありがとうございました。

